

採用から5年間にわたる
継続的・計画的な
教員研修システムの構築

新潟市立総合教育センター

平成19年 政令指定都市新潟の誕生

人事権の委譲

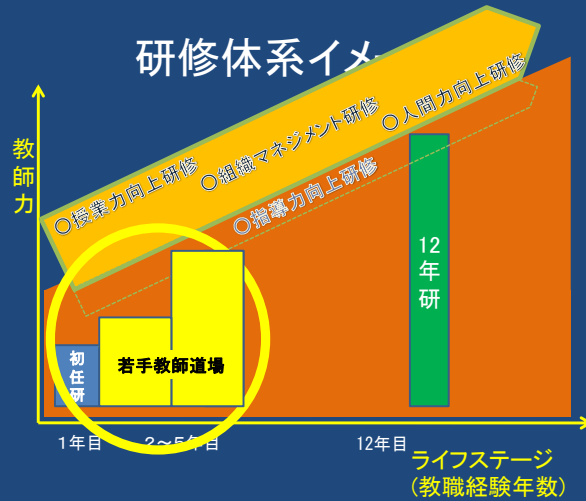
- 新潟市採用教員の誕生
- 新採用5年間に同一校で勤務

新潟市教育ビジョン

「教師力」

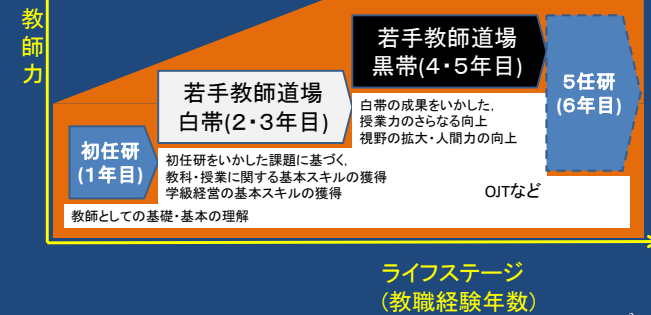
・・・「授業力」「組織マネジメント力」「人間力」

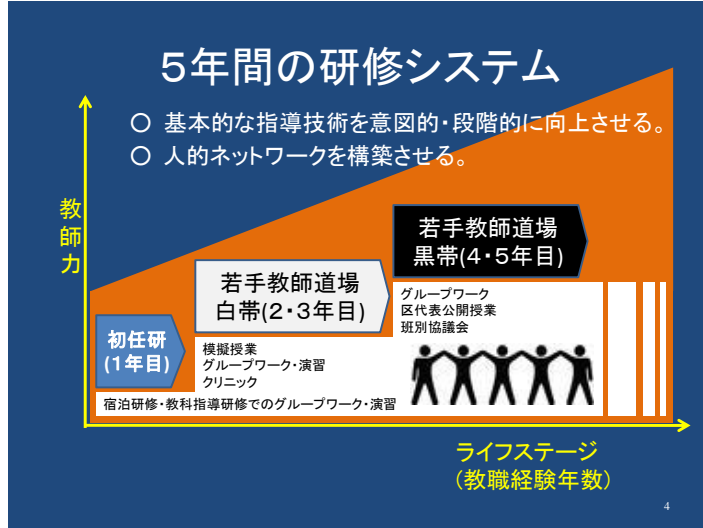
研修体系イメージ



5年間の研修システム

- 基本的な指導技術を意図的・段階的に向上させる。
 - ◆ 授業力の育成, 人間力の育成を重視
 - ◆ 5年間3段階に分け, わらいを設定





初任研と若手教師道場

初任研	白帯	黒帯
<ol style="list-style-type: none"> 1 指導の工夫 2 主体的な学びを促す学習のルール 3 教科指導の基礎技術(発問, 発答) 4 教科研究の進め方 5 ノート指導 6 個に応じた指導の在り方 7 研修課題の設定 8 指導案の書き方(基本事項の選別) 9 指導案の書き方(目標の設定, 内容) 10 学習指導案の検討 11 公開授業 12 教材の工夫 13 個に応じた指導の在り方 14 学習課題の設定 15 評価の平立て 16 学習形態の工夫 17 授業研究のまとめ 18 テーマに沿った授業 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科, はじめの一步 2 発問づくり 3 話し合い活動 4 ノート指導 5 板書 6 自学・家庭学習 7 学習の評価 8 指導案のづくり方 9 学級通信づくり 10 教室環境づくり 11 通知表・期末評価 12 学級組織・保活動 13 個人懇談・保護者会 14 特別な支援が必要な子ども 15 短学活・教師の講話 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返り ○ グループワーク 2 授業研修 <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人授業研修 ○ 指導案相互批評 ○ 代表授業研修 3 成果と課題の共有 4 講義・演習 <ul style="list-style-type: none"> 「不登校を通して考える生徒指導」

- ## I 初任者研修
- 校内研修(基本研修&授業研修)
校外研修
- ・ 授業基礎研修
 - ・ 小グループによる公開授業研修
 - ・ 特別な支援を要する児童・生徒への支援
 - ・ 情報モラル・ICT活用
 - ・ 生徒指導
 - ・ 人権同和教育
 - ・ 自己, 他者理解
 - ・ 接遇
 - ・ ボランティア体験

II 若手教師道場(システム)

若手教師道場「白帯」	若手教師道場「黒帯」
○○○, はじめの一步	○○○, さらなる一步
<ul style="list-style-type: none"> ○2年目・3年目の教員 ○3カテゴリーから4講座を 選択して受講 	<ul style="list-style-type: none"> ○4年目・5年目の教員 ○授業における課題研修 1講座 ○人間力の向上に資する 1講座

白帯・黒帯とも, 午後半日を4日間(4回)×2年間

講座の選択

研修カテゴリー	研修内容	白帯		黒帯	
		2年目	3年目	4年目	5年目
白帯	教科教育, はじめの一步	希望	希望		
	授業スキル, はじめの一步	選択	希望		
	学級経営, はじめの一步	希望	選択		
黒帯	授業力, さらなる一步			希望	希望
	人間力, さらなる一步			希望	希望

II 若手教師道場(内容)

若手教師道場「白帯」

- 教科教育, はじめの一步(13)
- 授業スキル, はじめの一步(7)
- 学級経営, はじめの一步(7)

○指導方法, 指導技術の獲得に特化した内容

- 「見てわかる研修」「やってわかる研修」を行う。
- アイスブレイクや協働するグループワークなど, 受講者同士がかかわり合う場面を設定する。
- 原則として小・中・特支などの学校種や教科に限定しない講座内容とする。

若手教師道場「黒帯」

- 授業力, さらなる一步(1)
- 人間力, さらなる一步(1)

- 学習指導の課題
- 学習指導以外の課題

(1)若手教師道場「白帯」

教科教育, はじめの一步(13)

- ◆特定教科における指導原理, 指導スキルを獲得する。
- ◆原則として「指導主事による模擬授業」が位置づく。

授業スキル, はじめの一步(7)

- ・国語, 社会, 算数・数学, 理科, 生活, 音楽, 図工・美術, 技術, 家庭, 体育
- ・道徳, 総合的な学習, 中学校外国語
- 「模擬授業」, 「演習」から構成する。

学級経営, はじめの一步(7)

(1)若手教師道場「白帯」

教科教育, はじめの一步(13)

- ◆教科を横断する授業の技術, 指導スキルを獲得する。
- ◆原則として「指導主事による模擬授業」が位置づく。

授業スキル, はじめの一步(7)

- ・発問づくり
- ・話し合い活動
- ・ノート指導
- ・板書
- ・自学, 家庭学習
- ・学習の評価
- ・指導案の作り方
- 「模擬授業」, 「演習」から構成する。

学級経営, はじめの一步(7)

(1)若手教師道場「白帯」

教科教育,
はじめの一歩(13)

授業スキル,
はじめの一歩(7)

学級経営,
はじめの一歩(7)

- ◆学級経営にかかわる指導原理, 指導スキルを獲得する。
 - ◆原則として受講者の抱える学級経営上の課題の解決を図る「学級経営クリニック」が位置づく。
- ・学級通信
 - ・教室環境
 - ・通知表, 期末評価
 - ・学級組織, 係活動
 - ・個人懇談, 保護者会
 - ・特別な支援が必要な子ども
 - ・短学活, 教師の講話
- 「演習」「学級経営クリニック」から構成する。

12

(2)若手教師道場「黒帯」

授業力, さらなる一歩

人間力, さらなる一歩

- ・ 5月
授業における自己課題の明確化
- ・ 6月～12月
各自の課題解決に向けたOJTと指導案の相互批正
- ・ 9月
区の代表による公開授業研修と協議会研修
- ・ 12月
研修の成果と課題の共有

13

(2)若手教師道場「黒帯」

授業力, さらなる一歩

人間力, さらなる一歩

- ・ 8月
現在の教育課題について中央講師による講義と演習

平成23年度(予定)

「不登校を通して考える生徒指導」

講師 PHP総研
亀田 徹 様

14

若手教師道場「黒帯」と5年研

修了

教職5年目に4回の講座を履修

若手教師道場「黒帯」修了

6年目の勤務を終了

教職5年経験者研修の修了

若手教師道場「白帯」受講者(H21～H22)

	A 充実していた	B	C	D 充実していなかった
合計評価割合	90.2%	9.7%	0.1%	0.0%
合計評価数	998人	107人	1人	0人

- 受講者の評価から
 - ・明日から(すぐに)やってみたい。生かしたい。
 - ・模擬授業で教科のポイントがわかった。
 - ・模擬授業で児童役をやり、自分の課題が見えた。
 - ・演習をやってみて、やり方が学べた。自信がついた。
 - ・自己流でやっていたが、基本がわかった。
 - ・同年代の研修で、お互いがよい刺激となっている。
 - ・小中合同なので、指導内容の繋がりや実態がわかった。
 - ・他の若手に伝えたい、学校で提案したい。

16

総合教育センター事業モニター回答(H22)

若手教員にとって	A十分に役立っている	B少し役だっている	Cあまり役立っていない	D役立っていない
割合	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%
回答者数	26人	3人	0人	0人

- 回答者の意見・要望から
 - ・白帯は教員として身に付けてほしい授業・学級経営の基礎・基本が組み込まれており、研修成果を実感できる。
 - ・当校の2年目教員を見ると、自分自身が高めたいと感じている課題に応じて基本的な技術を学べる場があることは、授業力の向上に役だっている。
 - ・研修者同士が参画する双方向の研修が充実と意欲的な参加に結びついている。
 - ・黒帯に期待する。具体的な検証方法の明示を。
 - ・人間関係作りのさらなる充実を図っていただきたい。

17

成果

- 初任研内容を発展させた内容を意図的に組み込むことで、初任者としての経験を生かし、現実の課題を結びつけた実践的研修として捉えられていること。
- 初任研から継続する受講、小・中・特支合同の受講形態、双方向の研修形式としたことで、学校種や教科に限定されないネットワークが構築されつつあること。
- 自分の課題意識に基づいて選択して受講できるシステムとしたことで主体的な研修参加を促していること。(白帯)
- アイスブレイクやクリニックを内容設定したことで、お互いの状況等を理解し、悩みを共有することができていること。(白帯)

18

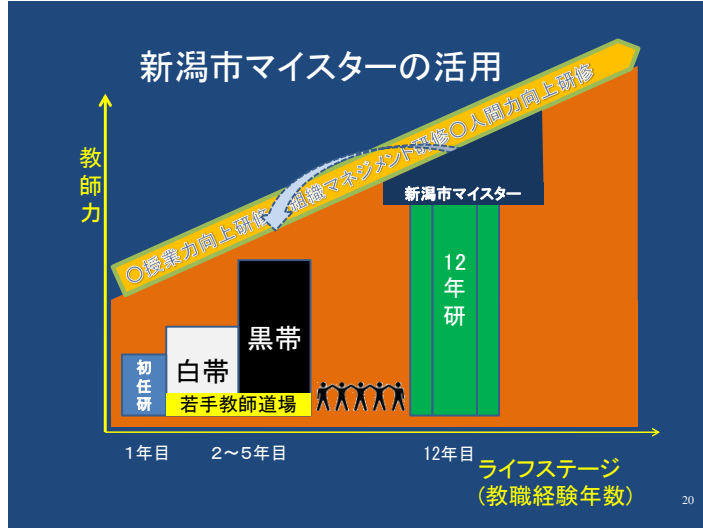
課題

- ▲ 若手教師道場の効果の検証
- ▲ 若手教師道場「黒帯」の研修方法の改善

年度	校種等	北	東	中央	江南	秋葉	南	西	西蒲	
H23年度	全市	71	7	18	7	5	7	2	17	5
	小	46	5	10	4	2	6	2	11	4
	中	25	2	8	3	3	1	0	6	1
	班	21	2	5	2	1	2	1	5	2
H24年度	全市	102	12	18	14	8	14	7	19	10
	小	72	9	12	11	6	10	5	11	8
	中	30	2	6	3	2	4	2	8	2
	班	28	3	5	4	2	4	2	5	3

※H23は4年目、H24は4・5年目の受講者数

19



採用から5年間にわたる
継続的・計画的な
教員研修システムの構築

新潟市立総合教育センター